

看護部
だより

ナースキャッツ

No.17

感染対策の基本を一緒に学びました

感染対策委員
感染管理認定看護師(CNIC)

帯金里美

さまざまな施設において、感染対策について取り組むことが必須となっております。その中でも、スタンダードプリコーション(標準予防策)を理解し実践することが、世界の一致した感染対策の基本となっております。



講師 神貴子氏

8月7日、院内感染対策研修会「スタンダードプリコーションと手指消毒について」神貴子氏の講演が行われ、102名の職員が熱心に学習をしました。

個人防護具の適切な着用方法、擦式手指アルコール消毒剤での手洗い方法、手荒れ防止のためのケア方法など、多くのスライドを使って分かりやすい内容でした。



CNIC 帯金里美

研修後のアンケートでは、「ぬれた手は細菌を集めやすいということが分かった」「感染対策を怠った代償はかなり大きいので、日々きちんとやるようにしたい」「手の乾燥、手の状況によって感染リスクが変動する

ことを知った」「手袋など個人防護具は、使いやすい位置に配置したい」など、いろいろな感想をいただきました。

院内感染対策は、病院環境という中での対策です。さまざまな微生物と人間は共存しているということを認識して適切な対応を心がけたいと思います。



糖尿病 カンファレンス

副看護部長 糖尿病療養指導士

榛村通江

糖尿病治療は医療チームが患者様の事を良く話し合う機会を持つこと(カンファレンス)でよい医療ができると言われていきます。

当院ではばらばら開催されていた糖尿病のカンファレンスが、今回医師の赴任により再開されました。チームカンファレンスの目標は限られた入院期間で効果的な医療を患者様に提供できること、また治療



方針に沿ったチーム医療が行われることです。糖尿病治療は自己管理が95%といわれます。だからこそ、医療の専門職がチームで患者様を支えます。今後の活動にご期待下さい。

輝きナース

パート 3

リッチな時間

石川友美

昨年三月より同僚と着付けクラブを始め、月一回着物や浴衣を自分で着られるよう練習しています。先生に教えて頂き、一年経過する頃には一人で着る事が出来る様になりました。継続

は力と実感しています。好きな事に一生懸命になれる時間って、とっても素敵です。先生のおかげで、今では私のとても大切な時間になっています。着物の楽しみを教えてください、女性らしさの勉強にもなり、皆と素晴らしい時間を過ごしています。ありがとうございます。今年度はみんな着物でお出掛けできるといいなと思っています。